

神奈川県皮膚科医会

総会・第172 回例会

第168回横浜市皮膚科医会例会

第10回日本臨床皮膚科医会神奈川県支部総会

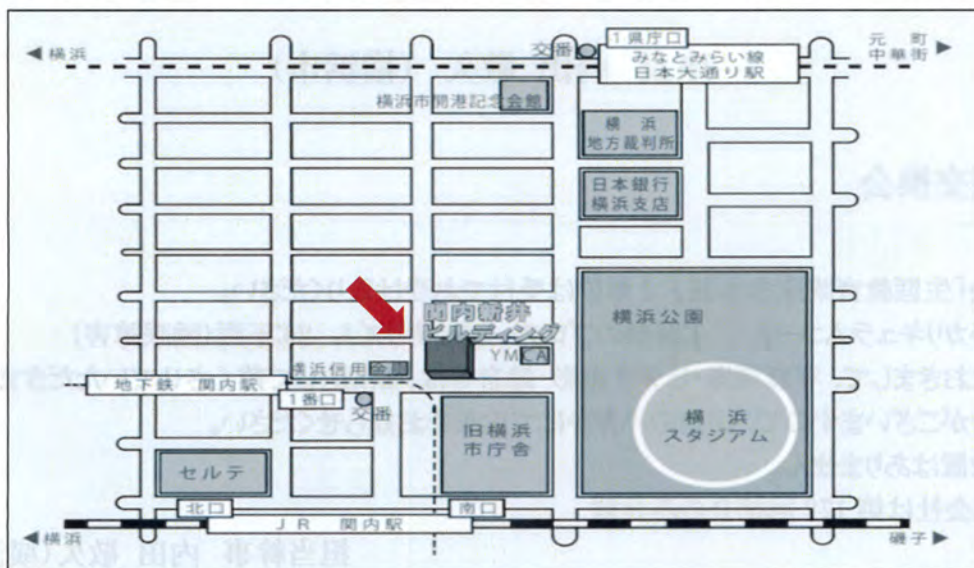
日常診療にて中毒疹や蕁麻疹など膠原病を鑑別に挙げる場面は数多くみられます。様々な膠原病（強皮症、皮膚筋炎、関節リウマチなど）の皮疹を呈示しながら膠原病の見つけ方のポイント、治療介入の重要性、最近の話題について横浜市立大学山口由衣先生をお招きしてご講演を賜りたいと思います。また乾癬に関しては、乾癬性関節炎はもとより、虚血性疾患や糖尿病、炎症性腸疾患などの併存疾患との因果関係が解明されつつあります。そして予防管理の観点から全身療法の早期介入、長期的な維持の必要性がクローズアップされています。膠原病、乾癬とも全身の慢性炎症性疾患であり他科との連携はかせない疾患です。令和5年4月より横浜市立大学では皮膚科と血液・リウマチ・感染症内科が協力して一緒に診察をする乾癬センターを立ち上げました。実際にどのように連携して診察に取り組んでいるかについてお話頂き、皮膚科医の立ち位置、他科連携の重要性について学びたいと思います。多くの先生方のご参加をお待ちしております。

日時：令和6年7月7日(日) 14時00分-17時10分

会場：関内新井ホール（横浜市中区尾上町1-8 関内新井ビル11F TEL:045-681-6763）

形式：現地開催 ※会場参加のみ（WEBはありません）

医会事務費：3000円徴収いたします。 ※会員でない方も参加可能です。



【アクセス】

- ・JR 京浜東北/根岸線「関内駅・南口」より徒歩3分
- ・横浜市営地下鉄「関内駅・1番出口」より徒歩2分
- ・みなとみらい線「日本大通り駅・1県庁口」より徒歩7分
- ・お車でお越しの方 公共駐車場をご利用ください

共催 神奈川県皮膚科医会 横浜市皮膚科医会
日本臨床皮膚科医会神奈川県支部 マルホ株式会社

総会・第172 回例会プログラム

テーマ : 皮膚科医の楽しみや在り方について

14:00 開会
総会(日本臨床皮膚科医会神奈川県支部総会を含む)
健保コーナー Q&A

14:45 教育講演
「アトピー性皮膚炎の治療標的」

沖山 奈緒子

(東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科皮膚科学分野 教授)

座長 蒲原 毅 (横浜市立市民病院)

15:45 コーヒーブレイク(20 分)

16:05 イントロダクション 内田 敬久(うちだ皮膚科クリニック)

16:10 特別講演
「乾癬と膠原病診療に魅せられて～皮膚科医の役割と醍醐味～」

山口 由衣

(横浜市立大学大学院医学研究科 環境免疫病態皮膚科学 教授)

座長 内田 敬久 (横浜市)

17:10 情報交換会

- ※ 日本医師会「生涯教育講座参加証」2 単位は受付でお受け取りください。
今回の取得カリキュラムコード 1:医師のプロフェッショナルリズム 20:不眠(睡眠障害)
- ※ 講演会場におきまして、写真撮影・ビデオ撮影・録音等は、原則として禁止させていただきます。
- ※ 準備の都合がございますので、同封のハガキにて出欠をお知らせください。
- ※ 託児室の設置はありません。
- ※ マルホ株式会社は第 172 回例会のみ共催

担当幹事 内田 敬久(横浜市)

次回例会予定

神奈川県皮膚科医会 第173 回例会

(第 232 回相模原市皮膚泌尿器科医会学術講演会)

日 時 : 令和 6 年 12 月 1 日(日)

会 場 : 関内新井ホール

テ ー マ : 下腿潰瘍

担当幹事 : 大松 華子

共 催 : 鳥居薬品株式会社